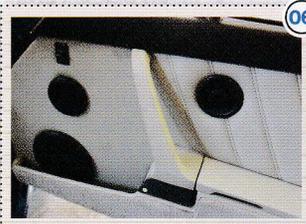
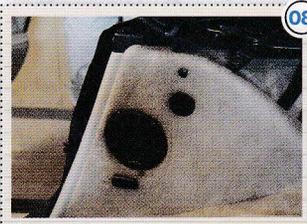
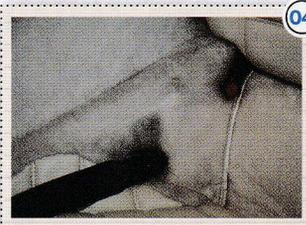


【作業前】



とりえず現状はこんな感じかな〜り汚れていますね

亀裂が入ってボロボロになってしまったフロントシートに関しては、すでに清掃で見栄えを改善できるような限界を超えているため、今回はそれ以外の部分の清掃をお願いすることにした。というわけで、まず最初に清掃前の状態を確認しておくことにしよう。①②③さすがにリアシートはエマーゼンシー用に近いものなので、元々使用頻度は多くなかった様で、こうやって見る限りではそれほどひどく汚れているようには見えない。④シミというわけではないが、シートベルトのアンカーの周囲には不自然な黒ずみがあった。⑤頻繁に手を触れる部分だけあって、シフトノブはご覧のように黒く汚れているばかりか、剥けている部分もあった。さすがにここは清掃で何とかするのは無理なので、塗装が交換になるだろう。⑥インナー側のドアハンドルは手垢で黒ずんでいる。ここは見苦しい部分なので期待も大。⑦隙間にはホコリやチリなどが入り込んでおり、見苦しい状態になっている。⑧理由は不明だが、リアシート側面にはなぜか黒く薄汚れている部分がある。白い内装でなかったら気が付かないかも。⑨⑩フロアマットやカーベッドは汚れてグレーに染色。どこまで復活できるかな？

エアコン、足回りなどのリフレッシュを終え、いよいよ見た目重視の内外装に目を向けてみる。なぜか分からないが室内の状態は最悪。シートはボロボロだしカーベッドは汚い…。おまけに幌も至るところに穴が開いている有り様。走りに関してはバッチグーになったので、今月からは気になっていた内外装のリフレッシュ。

文●半谷範一 撮影●森口信之  
取材協力●スピードジャパン(tel.03-3555-8865 <http://www.speedjapan.co.jp/>)  
Dust Clean Support(tel:03-3609-3338 <http://www.dust-clean.com/>)

ポルシェ964カブリオレMT車 Vol. 1

新車に戻すぞ How Much!

実は以前、スピードジャパンの小澤社長がプライベートで使っている

この964を新車(とはいわないまでも、その雰囲気味わえる程度)の状態にまでリフレッシュしようというこの企画、先月号まで機械的な部分の作業はほぼ終了し、車検まで取得したということもあり、今月からは内外装などの「目に見える部分」の作業に移ることにしよう。機関の作業に関しては、一貫してスピードジャパンの提携工場でもある名古屋のナガセ自動車さんのお世話になってしまったが、内外装の作業に関しては関東圏に場所を移し、様々なスペシャリストの手をお借りしながら完成を目指すことにした。

必要なお金が確保できるといった条件が整っている場合には、今回のような出張作業をお願いすることも可能だ。

今月、その最初の作業として選んだのは室内の清掃。以前にクルマの状態を紹介するときにも書いた通り、この964はインテリアが白である上に、オープンなので内装をのぞき込まれることも多いので、けっこう気になるポイントとなっていたのだ。今回作業をお願いすることにしたのは、葛飾区にある室内清掃のプロフェッショナル、「ダストクリーンサポート」さん。自動車の室内清掃といえは、ボディの磨き/コーティングまたは内装のリペアを行なう業者さんが、オプションでルームクリーニングも行なうというケースが一般的であり、ルームクリーニングに特化したスペシャリストというのは全国的に見てもかなり少ないと思われる。

某車のルームクリーニングを依頼したことがあり、その仕上がりに感激したことがあったため、今回の作業をお願いすることになった。

代表の稲垣浩司氏にお話をうかがったところ、現在ではやはり自動車関連のクリーニングが多いということだが、決して自動車専門というわけではなく、家庭用のソファやマットレス、一般の住居のハウスタッククリーニングなどの業務も行なっているという室内清掃全般のプロフェッショナルとのこと。そういった作業においては、単純に見た目が綺麗になればそれでOKというわけではなく、チリやホコリ、ダニ、カビ等のアレレゲンの除去、不活性化も要求されるので、それが室内清掃という分野にける独自のノウハウ等の蓄積につながっているという。

当然のことながら、作業にはそのレベルに見合った時間が掛かってしまうため、一般的なクルマの場合、朝クルマを預かって、その日の夕方まで掛かるのが普通だという。また、大型のワンボックスや汚れがひどいクルマ、タバコのヤニがこびり付いてしまっているようなクルマ、カビやシミの除去といった作業の場合には、何日かクルマを預かっている作業になるという。

ただし、100Vの電源や水道、必要な広さが確保できるといった条件が整っている場合には、今回のような出張作業をお願いすることも可能だ。

インテリアのリフレッシュに着手！  
まずはプロにお願いして室内清掃！

**【作業中】**



11



12



13



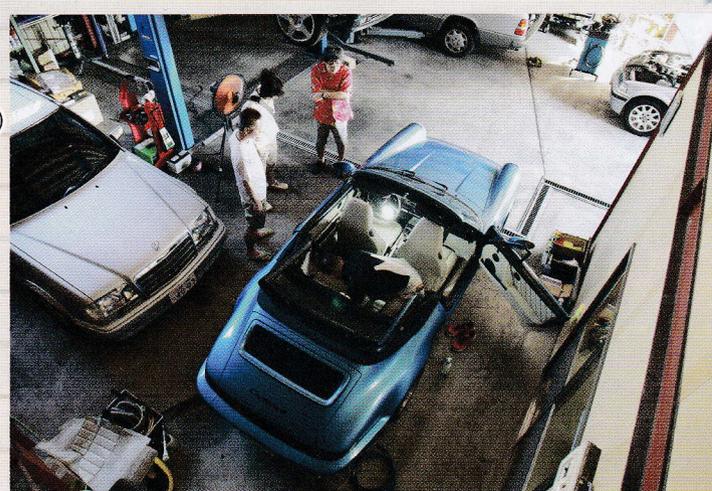
14



15



16



17



18



20



21



19



22

**100Vの電源や水道、必要な広さが確保できるといった条件が整っている場合には出張作業もお願いできます!**

今回、出張作業をお願いしたところ、代表の稲垣浩司氏が自ら作業に来てくださった。100Vの電源が必要なエアコップレッサーを始めとして様々なツールが必要となるため、①②③④⑤⑥この道具はエアで動作するブラシで、ブラッシングと洗浄を同時に行なえるようになっていた。使用している洗剤は、一般のカークリーニング業者で使用されている物とは異なる専用の物。マットレスやソファのクリーニングでは、アレルギーのある方や子供などの健康等にも配慮し、石油系の界面活性剤を一切含まない物を使用しているの、それを自動車にも応用しているとのこと。ブラッシングしたままではベタリしてしまうので、エアツールを使用して乾燥&起毛の作業を行っていた。シートなど外せる部分は外して作業するのが通常だが、この964に関しては別の方法でリフレッシュすることを考えているので、取り外しての作業は必要なしということになった。⑦⑧⑨全部終わってしまうと分かりますので、取り敢えず半分だけ作業をしていただいた段階でビフォー/アフターを撮影。見るからに汚れていたフロントシートやフロアマットに関しては想定範囲内ではあったものの、まさかアシートでもこれほどの差が出ると思わなかった。⑩ひたすら地味な作業が続く。室内清掃をするの小銭が出てくるのが少なくないが、過去には購入した中古車から予想外のお宝が出てきてオーナーが大喜び! ということもあったそうだ。⑪ステアリングやインパネ等、内装のテカリ等もキレイに除去して、新車時のようなしっとりとしたインテリアを復活させる。部分的にはメラミンスポンジのような研磨力の高い道具も使用するが、傷を付けないように細心の注意を払って作業をしていた。

**【作業後】**



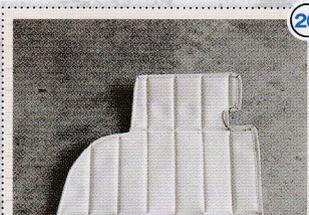
23



24



25



26

**見事に汚れが落ちました!**

はい、完成。この写真だけでもキレイなことはお分かりかと思うが、右側ページの写真と比較してしまうと、露出を補正しているのでは? と疑いたくなるような差はなくなった。⑫部分的な黒ずみは痕跡すらない。⑬ハンドル部分の汚れ、キレイに落ちていることがお分かりだろうか? ⑭色が白くなったことはもちろんだが、起毛されて新車の頃の雰囲気に戻っている。実際に作業を見れば、丸々一日掛かるというの納得だ。

**●作業料金**

	車内除菌コース (高温スチーム等で除菌、 車内環境を衛生的に!)	車内丸ごとしっかりコース (徹底したクリーニングで 見違える効果を)	車内丸ごとしっかり+ トラブル処理 (しっかりコース+10%増)
A 軽自動車	¥16,000	¥28,000	¥30,800
B 小型乗用・軽ワゴン	¥19,000	¥31,500	¥34,650
C 中型乗用	¥21,000	¥35,000	¥38,500
D 大型乗用・SUV(中型2列)・小型ミニバン(3列)	¥23,000	¥38,000	¥41,800
E 特大型セダン・大型SUV・中型ミニバン	¥25,000	¥42,000	¥46,200
F 大型ワゴンボックス	¥27,000	¥45,000	¥49,500
G 特殊車両・キャンピングカー・船舶等	別途見積り		

**※車種別・クラス表**

- A ワゴンR、ムーブ、タント等
- B フィット、マーチ、デミオ、bB、パモス等
- C プリウス、レガシィ(セダン)、アコード等
- D ウィッシュ、オデッセイ、中型SW、クラウン、ベンツEクラス、エクストレイル等
- E ノア、セレナ、エスティマ、セルシオ、ベンツSクラス等
- F アルファード、エルグランド、エリシオン、ベンツVクラス等
- G キャンピングカー、船舶(クルーザー・ヨット)等